

# Project 生物資源の多面的高度利用のための国際的教育研究拠点の形成

大学院生物資源学専攻は、中部地区の国立大学では唯一の充実した水産系教育コースと最新の練習船を有し、水圏・陸圏の微生物とその由来の酵素や機能性成分等に関する食品化学、触媒科学、発酵科学、分子生体学研究において全国的にも高い評価を得るとともに、今後はこれらの一層の重点化と発展を図ろうとしています。

本事業は、EU\*内において農林水産業や食品産業分野で強い競争力を維持しているオランダのワーヘニンゲン大学及び世界の微生物分野をリードする王立芸術科学アカデミー菌類多様性研究所、水産分野の世界的研究拠点であるベルギーのアントワープ大学との国際共同研究を通じて、優れた資質を持つ若手研究者を育成することを目的としています。

具体的には、本学の若手研究者、大学院生及び博士研究員の長期派遣、海外から若手研究者の長期受け入れを行い、共同研究ネットワーク構築と各段の共同研究推進を目指します。三重県をはじめ、東海・近畿地域の産業基盤として生物資源活用の比較的新しい展開と目されている発酵健康産業や製菓・創薬産業等の推進をターゲットとして、国際社会と地域社会にしっかりと寄り添う姿勢を持った人材を育成します。

\*欧州連合(European Union)



# Project 三重地域総合診療網の全国・世界発信

“地域住民の立場に立って医療・保健・福祉(在宅)を提供できる”、“そのために多職種と協働できる”、そして“その根拠や地域の問題を明らかにできる”アカデミックな能力も持った人材を育成するために三重地域総合診療ネットワークを構築し、地域に役立つ総合診療医\*とその指導医を養成して、三重県のみならず、全国、全世界に派遣します。

\*臓器別専門医に対して、総合的な能力を持っている医師。日ごろよくある、いろいろな病気や怪我について患者さんの立場になって継続的にケアでき、必要に応じて臓器別専門医に橋渡しができる。

## 事業の概要

- ① 三重県全地域に地域医療学講座を設置して、総合診療医を効果的に育成する。
- ② 良質な総合診療医を育成する指導医・教員を育成する。
- ③ チーム医療の要となるため、卒前教育から卒後臨床研修で多職種連携教育カリキュラムを構築する。
- ④ 総合診療医を育成するために三重大学そして他大学とともに公衆衛生大学院的な「総合診療のためのPhDコース・Masterコース」や医学教育的能力を付与するための「アカデミックGP教育コース」を設置する。
- ⑤ 地域住民のニーズに合致する医療・保健・福祉、そして地域の問題などを明らかにする調査を実施する。
- ⑥ 女性医師が働ける、又は家庭でも総合診療能力を維持できる環境を構築する。
- ⑦ 海外の発展途上国などでも医療、保健や医学教育の支援ができる人材を育成(「海外総合診療医チャレンジコース」)、その人材派遣のための仕組みを構築する。

